



明日からの夏休み、前後の土日を含めると白紙の 44 日間が皆さんの前に広がられています。どんな夏を描いていくか、皆さん一人ひとりの人生において色彩豊かな夏にしてもらいたと思います。

☆☆

3年生は、いよいよ受験生としての夏を迎えますが、自分の進路目標を実現するために覚悟を決め、『受験勉強 = 自分が成長するチャンス』と考えて、この夏を前向きに楽しんでください。

『計画を立て、実行する力』…『途中で振り返り、再検討する柔軟性』…『限られた時間を効率的に使い、時間内に終わらせる』…『生活リズムを守り、自分の健康を管理する』…『適度に息抜きし、ストレスをためない』…『つらい時にもプラス思考』そして『忍耐力』。

この夏を乗り越えたなら、それら様々な面で必ず成長することができます。そしてその経験が、これからの人生の様々な局面で困難にぶつかった時、それを乗り越える力ともなるのです。妥協して、早々と自分を見限って楽な方を選んだりせず、高い目標を諦めないことが大切です。

☆☆

2年生は、現行の入試制度最後の受験生となり、『超現役指向』・『超安全指向』、そして『谷間の学年』などと言われていますが、一見不利に思える状況は、見方を変えればチャンスともなります。全国のライバル達が安全志向に流れる中で、強気な姿勢を保ち続けければ頭一つ抜きん出ることが出来るはずですが、そのためにも、この夏休みは英語を中心に、基礎をしっかりと固める努力を払ってください。また、「大学入試改革」を先取りして推薦・AO 入試だけでなく一般入試でも小論文などの『書く力』を問う出題が大幅に増加しています。出題者の意図を正しく把握したうえで、自分の考えを分かりやすく正確に伝える文章が書ける必要があります。そのような力は短期間で身につくものではありません。「新聞をじっくりと読む(図表なども含めて)」そしてできれば「それに対する自分の考えをまとめる」。この夏休みからぜひ、そのような習慣を始めてください。大きな力に育つと思います。

☆☆

1年生は、一昨日の学年集会で、e-Portfolio の説明会と個人登録の作業が行われました。高校生活における皆さんの活動成果や学びの記録・振り返りを記録し、それが入試で活用されるようになります。これから様々な活動に主体的にチャレンジしてもらいたと思いますが、夏休みは絶好の機会です。英検などの資格取得を目指したり、大学などが実施している公開講座や体験活動などに積極的に申し込んで参加したり、旅行や読書で見聞を広め、博物館や美術館で本物に触れたり、様々な事柄に挑戦し、自分の視野を広げる機会にしてください。その経験はきっと進路選択にも役立つはずです。



①. 【 オープン・キャンパス 】



夏休み中、1・2年生は「総合的な学習」の課題として、全員が大学のオープン・キャンパスに参加すると思います。1年生は、初めて体験する大学の雰囲気に圧倒されてしまうかもしれませんが、オープン・キャンパスで憧れの大学に出会い、それを目標に頑張ろう、と決意した先輩は少なくありません。2年生は、自分が希望する学校を絞り込んでいくために、複数の学校を、事前に良く調べたうえで見学して下さい。3年生はほぼ、自分の受験校は決まりつつあると思いますが、受験勉強のモチベーション維持と気分転換を兼ねて、その学校に通う1年後の自分の姿を想像しながら、第一志望、そして併願候補校も必ず訪問してください。

ただし、オープン・キャンパスの姿が、必ずしもその学校の本当の姿ではありません。学生確保に躍起になっている一部の学校では、時に過剰なイベントやプレゼントで皆さんを誘い込もうとするかもしれません。3年生には、「今日、この場で AO にエントリーしなければ、この後はほとんど倍率が高くなりますよ・・・」などと焦らすような言葉で皆さんを囲い込もうとするかも知れません。そのような雰囲気に飲み込まれることなく、冷静な目で学校を見学してもらいたと思います。

②. 【 保護者会 大学見学会から 7/4(水) 】

千葉西高校では、例年7月上旬に保護者会の文化委員会が主催して大学見学会を行っており、今年は7月4日(水)に、青山学院大学、明治大学の2校を訪問しました。78名の保護者が2台のバスに分乗して朝8時35分に千葉西高校を出発し、充実した研修を行うことができました(アンケートの満足度は96%でした)。



《 青山学院大学 》〔過去3年間の千葉西高校の合格者数は19名〕

若者の街、渋谷駅から10分の青山学院大学は、渋谷区青山と神奈川県相模原にキャンパスを持ち、10の学部で16,300人の学生が学んでいます。日経BPによる「大学ブランド・イメージ調査 2017-18」で、青山学院大学は私立大学としては慶應大、早稲田大、上智大に続く第4位であり、「キャンパスに活気がある」、「センスがよい、かっこいい」、「立地が良い」、「好感が持てる」、「コミュニケーション能力が高い」といった点が高く評価されています。青山学院大学に入り、学生達の姿を目にすると、まさにこの評価が真実であることがよく分かります。我々はガイド・ボランティアの学生に、パイプオルガン演奏中であった「ガウチャー・メモリアルホール」、歴史的建築物である「間島記念館」や「ベリーホールの礼拝堂」、などを案内していただきました。

《 明治大学 》〔過去3年間の千葉西高校の合格者数は45名〕

本校でも私立大学人気No.1の明治大学は、約31,000人の学生数を誇り、2018年度の「私立大学一般入試志願者数」で全国第3位の人気難関大学です。神田の古書店街、スポーツ用品店や楽器屋の建ち並ぶお茶の水、電器とオタク文化発祥の地、秋葉原からも近く、ハイカルチャーとサブカルチャーの境界のような特異な場所に位置しています。『「個」を強くする大学』のスローガンを掲げる明治大学は一人ひとりに合わせた就職支援を行い、「就職の明治」とも評されています。ガイド・ボランティアの学生に、リビティータワー最上階(23階)の見晴らし絶好なホールに案内され、ガラス張りの大きな窓からは、大都市・東京の街並みを見渡すことができました。

③ 【 3年 夏季学習ガイダンス 6/29(水) 】

6月27日(水)の7限、3年学年集会で駿台予備学校 千葉校の条隼人氏による「進路講演会」が実施され、夏休みを迎えるにあたっての心構えなどについて講演していただきました。

- (1) 最近の受験生の気質・・・文系人気・地元志向が強く、2極化が顕著になっている。
上位層 ⇒ 強気な出願、最後まで粘る 下位層 ⇒ 安全・安易指向、早く決めたい
- (2) 納得した受験・納得した進学をすること・・・直面する「困難」から「楽な方向」に逃げると結局は不本意入学(納得できないまま進学)となり、その中退者は毎年3万人を超える。
- (3) 大学入試は大きく変わりつつある ⇒ 求められるのは『読解力』
- (4) スマホとの付き合い方には注意し、メリハリを付けること。
- (5) 現役生は試験当日まで大きく伸びる。最後まで第一志望をゆずらない人がそれを手にできる。

④ 【 外部講師による進路指導 ① 7/12(木) 】

外部講師による進路指導①は、7月12日(木)の13時半から約1時間、駿台予備学校の増田悟先生を講師としてお招きし「GMARCHの英文法」というタイトルで視聴覚室において開催されました。夏休みの勉強の注意点の説明の後、「仮定法」の英文法講義が、明治大、中央大、立教大などの過去問演習も含めて行われ、参加者41名は熱心に受講していました。



- (1) 間違えたら、『良かった、いま間違えておいて』と前向きに考え、なぜ間違えたかをとことん考える。リスニングはもう一度聞く。
- (2) 過去問はいつからやるか・・・夏休み中に『見ておく』(どのような出題パターンか? 明治は? 青学は? など複数校を)・・・2学期からは時間を計って本格的に取り組む。